

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

1. 「利用カード」を作しましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作れます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
2. 本は、5冊まで3週間借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。
 - ※本は大切に扱い、友達に貸したり失くしたりしないようにしましょう。

★本を返すとき★

1. 返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合は、延長ができます。
2. 図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。
 - ※本が汚れていたり、大事なものはさんだりしていないか確認してください。
 - ※返却期日は守りましょう！！

★本を探すとき★

1. 図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
2. インターネットや携帯電話から探すこともできます。
 - ※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

1. 予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出しましょう。
2. パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。
 - ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。



みきちゃん

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454

★開館時間★(火～金)午前9時40分～午後7時
(土日・祝日)午前9時40分～午後6時
(子ども読書室は午後5時まで)

★休館日★ 月曜、館内整理日(月末)、年末年始

<http://www.ehimetosyokan.jp/contents/index.htm>
(携帯サイト <http://www.ehimetosyokan.jp/contents/i>)

愛媛県立図書館 YAコーナー

YAつうしん

Vol. 36 2014. 10

★新刊案内★

- ☆『大学選びより100倍大切なこと』筒井美紀 ジャパンマシニスト社
- ☆『机の上の仙人—机上庵志異』佐藤さとる ゴブリン書房
- ☆『死神うどんカフェ1号店1杯目』石川宏千花 KADOKAWA
- ☆『13歳からの料理のきほん34』アントラム栢木利美 海竜社
- ☆『オクサ・ポロック4呪われた絆』アンヌ・プリショタ サンドリーヌ・ヴォルフ 西村書店
- ☆『なりたい二人』令文ヒロ子 PHP
- ☆『星やどりの声』朝井リョウ KADOKAWA
- ☆『遠野物語 rimix』京極夏彦／柳田國男 KADOKAWA
- ☆『日本語のニュアンス練習帳』中村明 岩波ジュニア新書
- ☆『ムーミン谷の名言集』トーベ・ヤンソン／文・絵 講談社文庫
- ☆『いるか句会へようこそ』塚本裕樹 駿河台出版社
- ☆『うどんの時間』山下貴光 文芸社
- ☆『ポケットに物語を入れて』角田光代 小学館
- ☆『クラスメイツ 前期・後期』森絵都 偕成社
- ☆『10代のうちに知っておきたい折れない心の作り方』水島広子 紀伊國屋書店
- ☆『世界の中心で愛をさけぶ』片山恭一 小学館
- ☆『理系アナ拵太一の生物部な毎日』拵太一 岩波ジュニア新書
- ☆『気持ちもがとと伝わるかわいいふせんクラフト』しまだ・ひろみ 日東書院
- ☆『ぱりぱり』瀧羽麻子 実業之日本社
- ☆『甲子園だけが高校野球ではない 最後のプレイボール』岩崎夏海監修 廣済堂出版
- ☆『カラフルなぼくら』スーザン・クークリン著 ポプラ社



←携帯サイトはこちら。

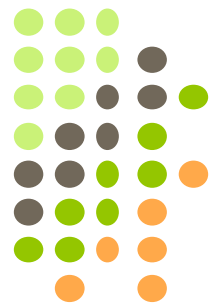
本の検索や予約ができます。

登録にはパスワードの申請が必要です。





本 × 音楽 =



音楽が出てくる小説、歌や楽器についての本、音楽について論じた本…本×音楽で、どんな世界が生まれるでしょう？本から音は聞こえないけれど、頭の中で何かが鳴り響く、音楽を奏でたくなる、そんな本を集めました。

『学校では教えてくれない人生を変える音楽』

雨宮処凛 ほか/著 河出書房新社

著名人26人による、自分の人生にとって大切な音楽についてのエッセイ。

「毎晩、毎晩、あの曲を求めてひたすら待っていた。」

「その音楽は、書物より何よりも实际的に、あなたを助ける。困難な時に救ってくれる。そうしてあなたの一部になる。」

「必要な音楽というのはすぐにわかる。どこでどんなふうに出会っても、ダイレクトに耳に飛び込んできて、そのまま身体から出ていかない。」……

知らない人が知らない音楽を紹介しているかもしれません。けれど、その曲と出会った時のワクワク、ドキドキを書いた文章には、きっと共感、です！



『モーツァルトはおことわり』

マイケル・モーパーゴ/作 マイケル・フォアマン/絵
さくまゆみこ/訳 岩崎書店

パオロ・レヴィ氏は、拍手も録音も好まない世界的なヴァイオリニスト。彼のインタビューではプライベートな話題、特に「モーツァルトの件」についてはだめだと言われていた。ところが…「ひとつの物語を話してあげよう。その話が終わったら、あんたはもう何も質問しなくてよくなるはずだ。秘密は嘘と同じだと言う人もいる。とうとうその嘘をやめるときが来たようだ」。それはパオロの胸に秘められた、音楽で戦時を闘った両親の物語だった…。



『世界にははたたく日本力 日本の音楽』

こどもくらぶ/編さん ほるぷ出版

世界で活躍する日本の音楽家、すぐれた日本の楽器や技術など日本の音楽に関する話題をわかりやすく紹介。日本の音楽のどこがすごいのか。それを生み出す背景とは？この本を読めばあなたも日本の音楽通！



『ピエタ』

大島真寿美/著 ポプラ社

18世紀のヴェネツィア。ピエタ慈善院に捨てられた孤児のエミーリアとアンナ・マリーアは音楽の才能を認められ(合奏・合唱の娘たち)に選抜される。音楽院でもあるピエタに生きる少女たちは偉大な作曲家ヴィヴァルディに出会い、その音楽に育てられていく。音楽に生きる少女たちの成長、その後の人生とは。美しい音楽と風景が広がる小説。
「よりよく生きよ、むすめたち。…よろこびはここにある。」



ご質問やご意見は、メールでも受け付けます。

アドレスは、ya@ehimetosyokan.jp

(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)

★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。